

平成30年2月三木市教育委員会（定例会）会議録

◇ 日 時

- 1 開 会 平成30年2月21日（水）午後3時30分
- 2 閉 会 平成30年2月21日（水）午後5時30分

◇ 場 所 三木市役所 5階 大会議室

◇ 会 議

- 1 開 会
- 2 会議録署名委員の指名
- 3 会議録の承認
- 4 議 案
議案第20号 平成30年度三木市教育の基本方針について
議案第21号 平成29年度文化芸術賞及び文化芸術奨励賞被表彰者の決定について
- 5 協議事項
協議事項25 平成30年度三木市教育委員会の権限に属する事務の市長への補助執行に関する協議について
協議事項26 三木市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について
協議事項27 三木市教育委員会権限事務の補助執行に関する規程の全部を改正する訓令の制定について
協議事項28 三木市教育委員会事務局組織規則の一部改正に伴う関係規程の整理に関する訓令の制定について
- 6 報告事項
- 7 その他
次回教育委員会定例会の開催日時について
- 8 閉 会

◇ 会議に出席した者の職氏名

教育委員	1番	教 育 長	[不 在]
	2番	教育長職務代理者	里 見 俊 實
	3番	委 員	井 口 徹

	4番	委員	石井	ひろ美
	5番	委員	浦崎	秀一
事務局		教育長職務代行者	西本	則彦
		こども未来部参与	岩崎	恵
		教育政策課長	降松	俊基
		教育環境整備課長	安福	亮博
		文化スポーツ振興課長	高嶋	信行
		図書館長	伊藤	真紀
		学校教育課長	横田	浩一
		教育センター所長	大東	豊
		就学前教育・保育課課長	正心	均
		子育て支援課長	井上	典子
		参与兼企画調整課長	藤原	幸彦
		市民協働課長	中井	朋子
		人権推進課長	與倉	秀顕
		教育政策課主査	能出	真一
		教育政策課主任	橋本	祥子
傍聴者		0人		

1 開 会

教育長職務代理者が、平成30年2月三木市教育委員会定例会の開会を宣言した。

2 会議録署名委員の指名

教育長職務代理者が、本日の会議の会議録署名委員に、石井委員と浦崎委員を指名した。

3 会議録の承認

平成30年1月定例会（24日開催）の会議録の承認について、教育

長職務代理者が委員に諮ったところ、全員一致で承認された。

◇ 議事の公開・非公開

教育長職務代理者が議事の進行について、議案第21号は個人に関する情報を含む案件であるため、協議事項25、協議事項26、協議事項27及び協議事項28は政策形成段階の案件であるため、三木市教育委員会会議規則第5条第1項ただし書の規定により、非公開で審議することについて委員に諮り、同意された。

4 議 案

【議案第20号】

平成30年度三木市教育の基本方針について

○横田学校教育課長が次のように説明した。

平成30年度三木市教育の基本方針について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第25条及び三木市教育委員会の権限に属する事務の一部の教育長への委任等に関する規則第2条の規定により、委員会の議決を求める。

1月の定例会でいただいたご意見をもとに修正している。表紙には、これまでの「大志躍動」に代わり、三木市教育大綱基本理念の「ふるさと三木を誇りとし、自立心あふれる人材の育成」を記載した。1ページの総論では、国の動向や市の教育との関連及び今年度の取組について記載し、それを受けて平成30年度の主な取組として、①学校の適正規模・配置に関する検討を進めること、②教育委員会の組織の改編と社会教育の充実及び就学前教育・保育、学校教育における人権教育の充実を図ること、③新しい幼稚園教育要領等の実施に伴う教育・保育の更なる充実、④学力向上サポート事業と道徳の教科化を契機とした心の教育の更なる充実を図ること、⑤学校施設整備計画を策定し、施設の整備を進めること、⑥国指定史跡三木城跡及び付城跡・土塁整備基本計画に基づき整備を行うことを挙げている。2ページの重点取組には、「小規模校の良さを生かし

た学校規模に応じた教育環境の充実（学校の適正規模・配置の検討等）」を追加していたが、「学校の教育環境の充実と検討（学校の適正規模・配置の検討等）」に変更した。3ページの就学前の教育・保育の推進の中で、質の高い就学前教育・保育の保障の取組内容として、保育所等は教育課程ではないため、「子どもの発達を踏まえた計画」という文言を追加した。7ページの特別支援教育の充実の中で、適切な指導及び必要な支援の実施の取組内容として、「家庭との連携」という文言を追加した。13ページの生きがいを実感できる生涯スポーツの振興の中で、三木市らしさに着目したスポーツ振興の取組内容として、ホースランドパークの活用について追加した。

（浦崎委員）表紙について、文字の大きさのバランスが悪いと感じる。
また、イラストについてももう少し強調することはできないのか。

（横田学校教育課長）文字について、全体のバランスを考えながら検討する。イラストは、三木市出身のイラストレーターこゆりさんに平成24年度からお願いし、使用許可をいただいて毎年使用しているため、このままでいかせていただく。

（里見教育長職務代理者）三木市教育大綱の基本理念のみを持ってきたことについて、内部で議論されたことと思うが、何か意見はあったか。

（横田学校教育課長）今までは表紙に「大志躍動」の他に教育目標や重点目標も記載していたが、三木市教育大綱の基本理念を記載したことで、バランスを考え、見栄え的にその他は記載しないこととした。

（里見教育長職務代理者）総論の中で、平成30年度の主な取組の①学校の適正規模・配置に関する検討を進めることについて、「今後の三木市の教育を左右するテーマであり」とあるが、「最重要」という言葉を入れるのはどうか。また、「学校、保護者、地域の方々の協力を得ながら」とあるが、学校は協力ではなく、主体的にやらないといけないため、削るべきである。さらに、昨年保護

者や地域の方々に学校環境のあり方について、アンケートを実施しており、単なる「協力を得ながら」という言葉では弱いのではないか。市長は「チーム三木」という言葉を用いて施政方針を打ち出しており、この取組についても「一体となって」と強く強調すべきではないかと感じる。

(石井委員) 同じ箇所で、「慎重な議論の中にもスピード感を持ちつつ進めてまいります。」とあるが、なぜスピード感を持たせる必要があるのか理由付けが必要ではないか。

(西本教育長職務代行者) 教育委員会として、課題が出るたびに先送りするのではなく、一般的にスピード感を持って取り組んでいくという姿勢を示したものであり、ある事例を出して説明する必要は無いものとする。

(石井委員) 事例を出すという意味ではなく、一般的に目を通すと、なぜ急いで取り組まないといけないのかと感じる方もいらっしゃるのではないかと感じたが、そういう考えであれば理解する。

(里見教育長職務代理者) 平成30年度の主な取組の③新しい幼稚園教育要領等の実施に伴う教育・保育の更なる充実について、幼稚園については教育課程があるが、幼児の関係は発達段階ではなく、発達過程というのか。

(岩崎こども未来部参与) 発達段階という言葉も誤りではないが、保育所保育指針には、「子どもの発達過程を踏まえて」という言葉が使用されているため、それを引用して記載している。

(井口委員) 3ページの就学前の教育・保育の推進の中で、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の説明があり、具体的な姿のひとつに「自立心」があるが、「自律心」という言葉も入れてもいいのではないか。

(横田学校教育課長) 律することも非常に重要な事ではあるが、幼稚園教育要領等に示されたものを引用しているため、変更は出来か

ねる。

(井口委員) 8ページの教職員の資質向上及び指導力向上の中の、次代を担う教職員の育成の取組内容で、「指導技術の伝承とOJTの推進による若手教職員及びミドルリーダーの育成」があるが、以前からベテランと若手の教職員の間にはギャップがあることが問題となっており、重点取組とすべきではないか。

(石井委員) 同感である。今後新任の教職員も増えてくる中で、中堅教職員の方々に土台づくりをしていただくためにも重点取組とすべきと感じる。

(里見教育長職務代理者) 10ページの学校の教育環境の充実と検討の中の、学校の適正規模・配置の検討の取組内容で、「学校環境のあり方に関する方針案の作成」とあるが、取組内容の方が抽象的な記載になっていると感じる。総合教育会議との兼ね合いもあるが、何の方針案なのか、具体を出さないといけない時期ではないか。

(西本教育長職務代行者) 今後のこともあり、先走ってここで具体を入れ過ぎるわけにはいかないが、「学校の適正規模・配置の検討に関する方針案」とする方向で検討する。

(里見教育長職務代理者) 15ページの話せる英語教育の推進のめざすことも像に関する記載の中で、外国語活動という言葉が出てくるが、英語以外の言語も含まれているのか。

(横田学校教育課長) 学習指導要領では、英語のことを外国語活動と記載されているため、それを引用した記載としている。

教育長職務代理者が、議案第20号について採決を行い、原案に一部修正を加え可決された。

5 報告事項

(1) 平成29年度三木市教育功労賞被顕彰者の決定について

○中井市民協働課長が次のように報告した。

各公民館の教室において5年以上講師を務めていただき、社会教育の振興と発展に貢献された12名の方に対して、三木市教育委員会顕彰規則第2条の規定に基づき、感謝状を贈呈する。

(2) 教育環境整備課報告事項

○安福教育環境整備課長が次のように報告した。

中学校の施設整備工事の進捗状況（2月8日現在）について報告する。三木中学校屋内運動場非構造部材耐震化工事は、進捗率90%であり、今後外壁補修工事を行う。三木東中学校屋内運動場非構造部材耐震化工事は、完了した。

上の丸保育所耐震化について、補強計画及び実施設計を合わせては注しており、現在は補強計画を行っている。委託業者は、株式会社小西建築設計事務所で、委託費は2,970千円である。今後の工程として、補強計画が出来次第、文化庁へ現状変更申請届を提出する。早期の完成を図るため、提出後速やかに実施設計に取りかかり、文化庁の許可が下り次第、工事に着手する。工事の完成は、平成30年10月末となる予定である。

(3) 文化スポーツ振興課報告事項

○高嶋文化スポーツ振興課長が次のように報告した。

映画上映会、第64回三木市展、三木市スポーツ賞表彰式を記載のとおり開催した。みき歴史資料館では、企画展特別講演会、体験教室「勾玉を作ろう」、歴史講座⑨を記載のとおり開催した。

今後の予定として、みつきいふれあいマラソンを3月4日に開催する。みき歴史資料館では、お雛さま展スタンプラリーをはじめ6事業を記載のとおり開催する。

(浦崎委員) 体験教室「勾玉を作ろう」の参加者は4名となっているが、事業として好評を得ているのか。

(西本教育長職務代行者) みき歴史資料館の開館以降、定期的に行っている事業であり、当初は参加者が多かったが、これだけ少なければ事業自体の見直しも考える必要がある。来年度以降の課題とさせていただく。

(4) 図書館報告事項

○伊藤図書館長が次のように報告した。

「図書・雑誌のリサイクル」を2月10日に青山図書館で開催し、参加者は100名であった。

今後の予定として、中央図書館では「お雛さまスタンプラリー」を2月25日から3月4日にかけて開催する。「ひなまつりおはなし会」を2月25日に開催する。第3回図書館協議会を2月27日に開催する。また、3月17日に総合体育館で開催される「みき三十路式」に図書館ブースを出展する。

(5) 学校教育課報告事項

○横田学校教育課長が次のように報告した。

第11回校園長会を2月7日に開催した。学校主要行事等として、中学校スキー実習が記載のとおり実施された。私立高校入試が2月10日に実施された。また、同日に三木市連合PTA研究発表会を開催した。

今後の予定として、第12回定例校園長会を3月1日に開催する。公立高校学力検査は3月12日に実施される。小・中・特別支援学校の卒業式及び修業式が記載の日程で実施される。

(6) 教育センター報告事項

○大東教育センター所長が次のように報告した。

教育センターの事業として、CGアートコンテスト表彰式を2月10日に開催した。今後の予定として、教育研究員発表会を2月23日に開催する。

青少年センターの事業では、ネット見守り隊パトロール報告の問題事案は無かった。青少年健全育成啓発活動を2月3日に実施した。第7回役員会及び深夜補導を2月9日に実施した。今後の予定として、ネット見守り隊パトロール報告を2月22日に開催する。補導委員会会長選考会を3月2日に開催する。市内中学校卒業式特別補導を3月9日に実施する。

(7) 就学前教育・保育課報告事項

○正心就学前教育・保育課長が次のように報告した。

保育者交流研修会（人権研修講演会）を1月27日に開催した。

第三者監査を1月31日に実施した。第11回三木市保育協会理事会を2月1日に開催した。保育者合同研修会を2月3日に開催した。第三者評価を記載の5園で実施し、うち2園で合わせて計画訪問指導を実施した。民間認定こども園「人権研修」を2月20日に開催した。

今後の予定として、第三者評価、計画訪問指導及び民間認定こども園「人権研修」を記載のとおり実施する。第12回三木市保育協会理事会を3月8日に開催する。

（浦崎委員）今年度よかわ認定こども園が運営され、まもなく1年となるが、待機児童の現状はどうなっているか。

（正心就学前教育・保育課長）国の定義でいう待機児童はいないが、特定の園を希望され待たれている方は、市全体で143名（2月1日現在）である。よかわ認定こども園は、定員150名のところ入園児は132名であり、空きはあるが、園を指定された場合はお待ちいただいている。保育士の数が少なく、就職説明会やハローワーク等で呼びかけは行っているが、十分に確保できていないのが実情である。

（里見教育長職務代理者）保育士の確保はどこの市町でも喫緊の課題となっており、市独自の優遇策を出せるかも議論を要するものである。

（8）子育て支援課報告事項

○井上子育て支援課長が次のように報告した。

児童センターの一時預かり保育事業の現状について報告する。平成29年5月から開始し、1月末現在で開設日数71日のうち、利用実日数は48日、稼働率は67%である。利用者数は延べ97名、1日平均2名が利用されている。利用いただいている理由として、育児疲れの回避、病院の通院、家族の介護や急な仕事などがある。利用者からは好評を得ており、今後稼働率向上に向け、継続して取り組んでいく。

(非公開)

【議案第 2 1 号】

平成 2 9 年度文化芸術賞及び文化芸術奨励賞被表彰者の決定について

【協議事項 2 5】

平成 3 0 年度三木市教育委員会の権限に属する事務の市長への補助執行に関する協議について

【協議事項 2 6】

三木市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について

【協議事項 2 7】

三木市教育委員会権限事務の補助執行に関する規程の全部を改正する訓令の制定について

【協議事項 2 8】

三木市教育委員会事務局組織規則の一部改正に伴う関係規程の整理に関する訓令の制定について

議案第 2 1 号、協議事項 2 5、協議事項 2 6、協議事項 2 7 及び協議事項 2 8 は、三木市教育委員会会議規則第 5 条第 1 項ただし書の規定により、非公開として審議したため、同規則第 3 1 条の規定により、内容については記載しない。

教育長職務代理者が、議案第 2 1 号について採決を行い、原案のとおり可決された。

6 その他

次回教育委員会定例会の開催日時について

教育長職務代理者が、次回の教育委員会定例会の開催予定日時について諮り、平成30年3月22日、午後2時から開催することを決定した。

7 閉 会

教育長職務代理者が、平成30年2月三木市教育委員会定例会の閉会を宣言した。